

中小企業・小規模企業振興に関する  
令和5年度推進計画  
～概要版～



令和5年3月  
鹿児島県

# 「中小企業・小規模企業の振興に関するかごしま県民条例」の概要

制 定 平成24年10月12日条例第40号  
最終改正 平成28年 3月 8日条例第 1号

## 条例制定の目的

この条例は、中小企業・小規模企業の振興に関し、基本理念及び基本方針を定めるとともに、県の責務等を明らかにすることにより、中小企業・小規模企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって地域経済の健全な発展及び県民生活の向上に寄与することを目的として、県議会の議員提案により制定されました。

## 基本理念(第3条)

- 中小企業者・小規模企業者の創意工夫及び自主的な努力が基本

### 中小企業・小規模企業の振興

- 中小企業・小規模企業が地域経済の活性化や雇用の確保に貢献し、地域社会の担い手として重要な存在であると基本認識する
- 優れた人材、豊かな資源、蓄積された高い技術力等地域の特性を生かす

## 基本方針(第4条)

15項目の基本方針に基づき中小企業・小規模企業の振興に関する施策を講じる。

- (1)経営の革新及び経営基盤の強化
- (2)創業及び新たな事業活動の促進
- (3)資金供給の円滑化
- (4)事業活動を担うべき人材の育成及び確保
- (5)研究開発の促進並びに産学官及び産業間の連携の促進
- (6)知的財産の創造、保護及び活用の促進
- (7)農商工等連携及び6次産業化の促進
- (8)地域の多様な資源、特性等を生かした事業活動の促進
- (9)地域の中小企業への受注機会の増大
- (10)中小企業の振興に資する企業立地の促進
- (11)障がい者の雇用機会、男女の均等な雇用機会等を確保する環境の整備
- (12)安心して子どもを生み、育てることができる雇用環境の整備
- (13)ものづくり体験等による地域の中小企業への理解の促進
- (14)環境に配慮した事業活動の促進
- (15)国際的視点に立った事業展開の促進及び販路等の拡大

## 県の責務等

【年度推進計画の策定】(第6条)  
15項目の基本方針を踏まえ、中小企業・小規模企業の振興に関する施策についての毎年度の推進計画(「年度推進計画」)の策定・公表と、その実施

【中小企業者等の意見の反映】(第15条)  
中小企業者・小規模企業者や中小企業関係団体等と協議するなど、毎年度その意見を聴く機会を設け、中小企業振興施策へ意見反映

## 関係団体等の役割

【中小企業関係団体の役割】(第8条)  
中小企業の経営向上への積極的な取組  
中小企業振興施策の実施への協力

【大企業者の役割】(第9条)  
関係する中小企業に関する中小企業振興施策の実施への協力

【大学等の役割】(第10条)  
人材の育成及び研究の成果の普及を通じた中小企業振興施策の実施への協力

## 中小企業・小規模企業の振興に関するかごしま県民条例

平成24年10月12日条例第40号  
最終改正 平成28年3月8日条例第1号

鹿児島県は、二つの半島と多くの離島からなる南北約600キロメートルに及ぶ広大な県土に、豊かな自然を有し、近代日本の先駆けとなった産業や誇りある多様な文化を育んできた。こうした地域の特性や資源等を生かして中小企業は創業され、現在、県内企業のうち企業数で99.9パーセント、従業員数の約90パーセントを占め、地域社会の維持や雇用の確保など県民の生活を支える重要な存在であるとともに、地域の歴史、伝統、文化の継承にも大きな役割を果たしてきている。

しかしながら、国際的競争の激化、急速に進む少子高齢化、人口減少などにより、中小企業は、極めて厳しい経営環境に置かれている。そのことは、地域社会の連帯感の希薄化と相まって地域社会全体にも大きな影響を及ぼしている。

このような中、九州新幹線の全線開業、新たな国際航空路線の開設など、国内外との交流が拡大している。これを契機に、中小企業は、時代のニーズを的確に捉え、本県の基幹産業である農林水産業との連携など地域資源の有効活用や本県独自の商品の開発、東アジアなど海外も視野に入れた事業の展開や販路等の拡大に取り組む必要がある。

とりわけ、経営資源の確保が特に困難であることが多い小規模企業については、小規模企業振興基本法（平成26年法律第94号）が制定され、その経営状況に応じた事業の持続的な発展を図る必要がある。

これらのためには、県、市町村、中小企業関係団体、大企業者、県議会、県民、大学等が連携して中小企業の振興を支え、活力ある地域社会づくりにつなげていかなければならない。

その決意の下に、中小企業の振興を県政の重要課題と位置付け、施策を総合的かつ計画的に推進するため、この条例を制定する。

### （目的）

第1条 この条例は、中小企業が地域社会において果たす役割の重要性に鑑み、中小企業の振興に関し、基本理念及び基本方針を定めるとともに、県の責務等を明らかにすることにより、中小企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって地域経済の健全な発展及び県民生活の向上に寄与することを目的とする。

### （定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 中小企業者 中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項各号に掲げるもので、県内に事務所又は事業所を有するものをいう。
- (2) 小規模企業者 中小企業基本法第2条第5項に規定する小規模企業者であって、県内に事務所又は事業所を有するものをいう。
- (3) 中小企業関係団体 県内に事務所を有する商工会、商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会、事業協同組合、商店街振興組合その他の中小企業に関係する団体をいう。
- (4) 大企業者 中小企業者以外の会社及び個人であって事業を営み、県内に事務所又は事業所を有するものをいう。
- (5) 大学等 県内に所在する大学及び高等専門学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する大学及び高等専門学校をいう。）その他の研究機関をいう。

(基本理念)

第3条 中小企業の振興は、中小企業者の創意工夫及び自主的な努力を基本として図らなければならない。

2 中小企業の振興は、中小企業が地域経済の活性化及び雇用の確保に貢献し、地域社会の担い手として県民の生活を支える重要な存在であるという基本的認識の下に図られなければならない。

3 中小企業の振興は、優れた人材、豊かな自然に育まれた資源、蓄積された高い技術力等地域の特性を生かして推進されなければならない。

(基本方針)

第4条 県は、前条に定める基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、次に掲げる基本方針に基づき、中小企業の振興に関する施策を講ずるものとする。

- (1) 経営の革新及び経営基盤の強化を図ること。
- (2) 創業及び新たな事業活動の促進を図ること。
- (3) 資金供給の円滑化を図ること。
- (4) 事業活動を担うべき人材の育成及び確保を図ること。
- (5) 研究開発の促進並びに産学官及び産業間の連携の促進を図ること。
- (6) 知的財産の創造、保護及び活用の促進を図ること。
- (7) 農商工等連携及び6次産業化の促進を図ること。
- (8) 地域の多様な資源、特性等を生かした事業活動の促進を図ること。
- (9) 地域の中小企業への受注機会の増大を図ること。
- (10) 中小企業の振興に資する企業立地の促進を図ること。
- (11) 障がい者の雇用機会、男女の均等な雇用機会等を確保する環境の整備を図ること。
- (12) 安心して子どもを生み、育てることができる雇用環境の整備を図ること。
- (13) ものづくり体験等による地域の中小企業への理解の促進を図ること。
- (14) 環境に配慮した事業活動の促進を図ること。
- (15) 国際的視点に立った事業展開の促進及び販路等の拡大を図ること。

(小規模企業者への配慮)

第5条 県は、前条の基本方針を踏まえ、同条の規定により講ずる中小企業の振興に関する施策（以下「中小企業振興施策」という。）を実施するに当たっては、小規模企業者の事業の持続的な発展を図るため、その経営に関する支援体制の整備及び円滑な事業の承継が促進されるよう配慮するものとする。

(県の責務)

第6条 県は、中小企業振興施策についての毎年度の推進計画（次項において「年度推進計画」という。）を策定し、及び実施するものとする。

2 県は、年度推進計画を策定したときは、遅滞なく、これを県民に公表するものとする。

3 県は、中小企業振興施策を推進するに当たっては、国、市町村、中小企業者、中小企業関係団体、大企業者、大学等及び金融機関と連携して取り組むものとする。

(中小企業者の努力)

第7条 中小企業者は、基本理念にのっとり、自主的にその経営の向上を図るよう努めるものとする。

2 中小企業者は、地域住民と連携して地域の活性化に資するよう努めるものとする。

(中小企業関係団体の役割)

第8条 中小企業関係団体は、基本理念にのっとり、中小企業の経営の向上に積極的に取り組むとともに、中小企業振興施策の実施に協力するよう努めるものとする。

(大企業者の役割)

第9条 大企業者であって、その事業に関し中小企業と関係があるものは、基本理念にのっとり、中小企業振興施策の実施に協力するよう努めるものとする。

(大学等の役割)

第10条 大学等は、基本理念にのっとり、人材の育成及び研究の成果の普及を通じて、中小企業振興施策の実施に協力するよう努めるものとする。

(県議会の役割)

第11条 県議会は、基本理念にのっとり、中小企業の振興に関し、知事等の事務の執行の監視及び評価、政策立案並びに政策提言に努めなければならない。

(県民の理解と協力)

第12条 県民は、中小企業の振興が、地域経済の活性化、雇用の確保及び県民生活の向上に寄与することを理解し、その健全な発展に協力するよう努めるものとする。

(市町村に対する支援)

第13条 県は、市町村が中小企業の振興に関する施策を実施する場合は、情報提供、助言その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

(調査及び研究)

第14条 県は、中小企業振興施策を効果的に推進するために必要な調査及び研究を行うものとする。

(中小企業者等の意見の反映)

第15条 県は、中小企業者、中小企業関係団体等と協議するなど、毎年度その意見を聴く機会を設け、中小企業振興施策に反映するよう努めるものとする。

(財政上の措置)

第16条 県は、中小企業振興施策を推進するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例は、社会経済情勢の変化に対応して、中小企業の振興を図る観点から、適宜、適切な見直しを行うものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 中小企業・小規模企業振興に関する令和5年度推進計画【主要事業】

「中小企業・小規模企業の振興に関するかごしま県民条例」に掲げられた基本方針を踏まえ、中小企業振興施策を推進します。

### (1) 経営の革新及び経営基盤の強化

|    |                                   |           |
|----|-----------------------------------|-----------|
|    | ① かごしま経営革新推進企業伴走支援事業（中小企業支援課）     | 4,463千円   |
| 3補 | ○ サービス業販路開拓・生産性向上支援事業（中小企業支援課）    | 198,328千円 |
|    | ○ 企業成長促進ハンズオン支援事業（中小企業支援課）        | 23,573千円  |
| 3補 | ○ 中小企業経営革新支援事業（中小企業支援課）           | 5,524千円   |
|    | ② プロフェッショナル人材戦略拠点事業（産業人材確保・移住促進課） | 35,134千円  |
|    | など                                |           |

### (2) 創業及び新たな事業活動の促進

|  |                            |           |
|--|----------------------------|-----------|
|  | ○ スタートアップ推進事業（新産業創出室）      | 18,824千円  |
|  | ○ 宇宙ビジネス創出推進事業（新産業創出室）     | 19,000千円  |
|  | ○ ドローン関連ビジネス育成支援事業（新産業創出室） | 10,704千円  |
|  | ○ 起業支援プロジェクト事業（新産業創出室）     | 31,248千円  |
|  | ○ 新産業創出ネットワーク事業（新産業創出室）    | 146,520千円 |
|  | など                         |           |

### (3) 資金供給の円滑化

|  |                          |           |
|--|--------------------------|-----------|
|  | ○ 県中小企業融資制度運営事業（中小企業支援課） | 585,286千円 |
|  | ○ 企業立地資金貸付事業（産業立地課）      | 66,666千円  |
|  | など                       |           |

### (4) 事業活動を担うべき人材の育成及び確保

|  |                                 |          |
|--|---------------------------------|----------|
|  | ① 高度デジタル外国人材獲得モデル事業（外国人材政策推進室）  | 9,010千円  |
|  | ② 外国人材確保支援事業（外国人材政策推進室）         | 2,021千円  |
|  | ○ 発電用施設周辺地域多様な人材確保環境整備事業（産業立地課） | 50,000千円 |
|  | ○ 若者のための県内涼輝応援事業（産業人材確保・移住促進課）  | 32,332千円 |
|  | など                              |          |

### (5) 研究開発の促進並びに産学官及び産業間の連携の促進

|    |                            |           |
|----|----------------------------|-----------|
|    | ○ 新産業創出ネットワーク事業（新産業創出室）    | 146,520千円 |
| 3補 | ○ ものづくり中核企業生産革新支援事業（産業立地課） | 165,231千円 |
|    | ○ 公募提案型受託研究事業（工業技術C）       | 30,000千円  |
|    | など                         |           |

### (6) 知的財産の創造、保護及び活用の促進

|  |                         |         |
|--|-------------------------|---------|
|  | ○ 「知的財産推進戦略」推進事業（産業立地課） | 4,113千円 |
|  | など                      |         |

### (7) 農商工等連携及び6次産業化の促進

|  |                                 |          |
|--|---------------------------------|----------|
|  | ① 食品加工振興推進対策事業（かごしまの食ブランド推進室）   | 1,331千円  |
|  | ○ かごしまの6次産業化推進事業（かごしまの食ブランド推進室） | 29,806千円 |
|  | など                              |          |

**(8) 地域の多様な資源、特性等を生かした事業活動の促進**

- 伝統的工芸品総合対策事業（販路拡大・輸出促進課） 20,716千円
  - 3補 ○ 食品関連製造業生産工程自動化・省力化等支援事業（産業立地課） 116,692千円
  - 地域中核事業者経営発展支援事業（商工政策課） 16,000千円
- など

**(9) 地域の中小企業への受注機会の増大**

- トライアル発注・販路開拓支援事業（産業立地課） 5,409千円
  - 下請企業振興事業（産業立地課） 28,372千円
- など

**(10) 中小企業の振興に資する企業立地の促進**

- 企業立地促進補助事業（産業立地課） 1,537,778千円
  - 企業誘致促進事業（産業立地課） 18,704千円
  - 企業誘致ネットワーク整備事業（産業立地課） 8,917千円
- など

**(11) 障がい者の雇用機会、男女の均等な雇用機会等を確保する環境の整備**

- 労働問題相談事業（雇用労政課） 3,774千円
  - 企業による障害者雇用促進事業（雇用労政課） 4,200千円
  - 職場におけるジェンダー平等推進事業（男女共同参画室） 7,762千円
- など

**(12) 安心して子どもを生み、育てることができる雇用環境の整備**

- 多様な働き方推進事業（雇用労政課） 1,528千円
  - 子ども・子育て支援総合対策事業（子育て支援課） 2,882,327千円
  - 地域子ども・子育て支援事業（子育て支援課） 3,248,108千円
- など

**(13) ものづくり体験等による地域の中小企業への理解の促進**

- 発電用施設周辺地域ものづくり企業人材確保支援事業（産業立地課） 8,675千円
  - 未来を拓くキャリア教育推進事業（中・高校生のインターンシップ事業）（高校教育課） ゼロ予算
- など

**(14) 環境に配慮した事業活動の促進**

- GX推進再エネ導入支援事業（自立・分散型エネルギー設備導入支援）（エネルギー対策課） 134,980千円
  - 省エネ設備等導入支援事業（エネルギー対策課） 71,461千円
- など

**(15) 国際的視点に立った事業展開の促進及び販路等の拡大**

- 輸出商社と連携した県産品販路拡大支援事業（販路拡大・輸出促進課） 125,794千円
  - デジタルツール等を活用した海外販路拡大事業（販路拡大・輸出促進課） 15,663千円
  - かがしまの農林水産物輸出促進ビジョン推進事業（かがしまの食輸出戦略室） 107,419千円
  - 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（産業立地課） 151,430千円
  - 水産加工業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（水産振興課） 673,313千円
  - かがしまのさかな輸出産品品質向上支援事業（水産振興課） 35,382千円
- など

**周知・広報**

- 中小企業・小規模企業振興に関する意見交換会の開催（中小企業支援課） 751千円

合 計（160事業） 19,768,497千円